



小古山峯雄さん
(アド・エイディアイInc.代表)

「あの頃は全国各地で音楽フェスティバルも開催されていました。そういう、全国の熱気に、私たちも後押しされ、がんばってました。」

「あの頃は全国各地で音楽フェスティバルも開催されていました。そういう、全国の熱気に、私たちも後押しされ、がんばってました。」

翌昭和50(1975)年4月6日、第2回は6グループが出演しましたが、この時にゲストとしてプロのミュージシャンも登場しました(写真2)。

「渡辺貞夫さんのバンドで活躍していた鈴木勲さん(ベース)や守新治さん(ドラム)、渡辺香津美さん(ギタリスト)など、そういうメンバーでした。そういうプロの演奏から、自分たちも何か学びたいと思って無理を呼んだんです」

その第2回の貴重な写真が、写真3です。その後も定期的に開催していく中で、松本英彦や今田勝、日野晴正などそうそうたるメンバーが出演してくれました。また地元から高内春彦(ギター)などプロのミュージシャンも生まれ、宇都宮のジャズシーンをしっかりと育てて行く存在となりました。

プロの技量を学ぶ場にも



ミヤ・ジャズインのロゴマーク



特集2 ミヤジャズイン



昨年の「ミヤ・ジャズイン2011」

今年も11月3日(土)・4日(日)に開催される宇都宮の音楽の祭典「ミヤ・ジャズイン2012」。約40年前にジャズ好きの若者たちが始めたイベントが、今では中心市街地活性化の一翼を担うまでに成長しました。その歴史に深く関わり続けた小古山峯雄さん(アド・エイディアイ代表)に、話をうかがいました。

若い熱気が創り出した“ミヤジャズ”

ミヤ・ジャズインはこうして始まった



写真3 / 第2回に出演した鈴木勲カルテット。手前のギタリストは渡辺香津美。

「オリエンスクエアができたことで、イベントが一気に身近な存在になったんじゃないでしょうか」と小古山さんは言います。

「同時に、中心市街地活性化にも大きな役割を果たせるようになったと感じています。毎年、開催する度に来場者が増えています。」

今年5会場で開催

今年5会場で開催します。

- オリエンスクエア
- オリオン通り曲師町イベント広場
- 東武宇都宮百貨店6階屋上特設会場
- ラスタレージ(ラスタスクエア屋上)
- JR宇都宮駅構内



すっかりおなじみの外山喜雄とデキシシーセンツ

ミヤ・ジャズイン2012
11月3日(土)、4日(日) 午前11時～午後6時(予定)

「ジャズ喫茶やジャズ演奏の出来る店も、数多くできていました。江野町の〈マニア〉、泉町の〈近代人〉、本町の〈しいの実〉など、小古山さんは、昭和49(1974)年に、音楽愛好の仲間たちと「ミヤ・ジャズイン」というイベントを、栃木会館小ホールで開催しました。

当時は60年代のエレキブーム、ビートルズブームなどを受けて、音楽が大きく変わっていく時代でした。ジャズの世界でもマイルス・デイヴィスが本格的にエレクトリックを導入するなど、大きな変革の波が押し寄せ、若者たちが熱い情熱で音楽を語ったり、自ら楽器を手に演奏を行ったりするようになっていました。

ジャズが熱い時代にスター

どの店もジャズファンが集まっていました。ジャズを演奏するグループも生まれてきました。当時は7グループくらいあったでしょう。そういうグループに、広い所で演奏させたいな、という思いから始まったのが、ミヤ・ジャズインなんです」

記念すべき第1回は昭和49(1974)年9月18日、栃木会館小ホールで開催され、トリオからビッグバンドまで6グループが演奏し、宇都宮のジャズシーンをうたい上げました(写真1)。



写真1 / 記念すべき第1回のポスター



写真2 / 第2回のポスター。初めてプロが出演